



【第43号】
令和6年11月28日

福島県小名浜港湾建設事務所

おなはまみなと通信

【発行元】
福島県小名浜港湾建設事務所
企画調査課
☎ 0246-53-7126



小名浜港湾建設事務所ホームページはこちら
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41400a/>



いわき市最北端にある久之浜漁港を紹介します

久之浜漁港って
どんなところ？

整備・管理している港は9つ



今回は、小名浜港湾建設事務所では整備や管理をしている港湾・漁港の中から、久之浜漁港を紹介します。

久之浜漁港の歴史は古く、今から100年以上もさかのぼる大正2年から施設の整備が始まり、昭和初期に現在の形態を整えました。

現在は、施設の耐震・耐津波・耐波浪強化や浚渫などの工事を行っています。



「いわき市漁業協同組合」長谷川課長に御協力いただきました



長谷川課長



漁港ではどのようなことが行われているのだろう。いわき市漁業協同組合に御協力をいただき、水揚げの様子取材してきました。

取材は11月初旬、取材班が朝8時ごろ到着すると、漁船がぞくぞくと港に帰ってきました。

船から揚げられた魚は種類が様々で、イセエビ、ヒラメ、スルメイカ、どんこ、イワシ、なまこ、たこ、アカエイなどなど。

久之浜漁港では、「ヒラメ」や「カレイ」がよく揚がりますが、例年の同時期に比べ海水温が高く、本格的な水揚げ量になるのはこれからとのことでした。

また、長谷川課長にヒラメの調理方法を伺いました。「獲れたては、“お刺身”“昆布じめ”がおすすめ！お子様には“唐揚げ”が喜ばれる」そうです。旬が待ち遠しいです。

水揚げ中の漁港は、想像していた以上に多くの人が集まり、とても活気を感じました。これからも「安全で利用しやすい港」「施設の適切な維持管理」に一層取り組んでいきます。



小名浜港湾建設事務所では、いわき市内のみなとの管理、運営及び整備を行っています。「おなはまみなと通信」では、小名浜港をはじめとしたいわき市内の港湾・漁港の整備状況や話題等、みなとに関する情報を発信します。

※おなはまみなと通信は、当事務所のホームページからもご覧いただけます QRコードはこちらです



事務所の取組

密着！海上パトロール編

見逃さない！
少しの亀裂も



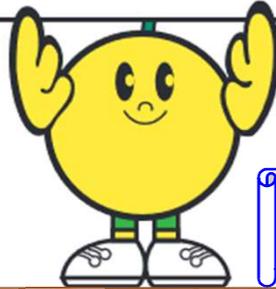
小名浜港には、輸出入のために世界中から船舶が入港します。海上パトロールは、船舶が安全に接岸できるように海上からではないと確認できない施設を点検しています。

パトロールのポイント

- ☑少しの亀裂も見逃さない
- ☑写真や動画など記録を撮る
- ☑乗船時は安全第一



沖から観る小名浜港と船舶は壮観です。乗船していると目には見えない潮の流れを感じます。また、大型船が航行する際、波の影響で船舶が大きく揺れた経験が怖かったですね。海上は日差しが強いので、特に夏場は眼鏡やマスクの日焼けに注意しています。



海上パトロールは、小名浜港の全ての防波堤や岸壁等を点検するため、週5日、午前と午後に分けて丁寧に行っています

みなとこぼれ話

小名浜に駅があった？！

皆さんは、イオンモールいわき小名浜の前に「小名浜駅」のモニュメントがあるのをご存じでしょうか？

小名浜に駅！？と思われましたか？ 実は、平成26年頃まで“福島臨海鉄道”は、JR泉駅から「イオンモールいわき小名浜」付近まで線路が延びており、貨物輸送専用の小名浜駅がありました。

平成23年東日本大震災後、「小名浜港背後地震災復興土地地区画整理事業（いわき市）」などにより、小名浜駅は西側に600m移転し、今も貨物輸送を行っております。

さらに歴史をさかのぼると、昭和41年頃までは、小名浜からなんと、江名（安竜団地入口付近）まで旅客用の鉄道が運行されていました。皆さんも小名浜から江名間でかつて活躍した鉄道の痕跡を探してみるのはいかがでしょうか？



小名浜駅の歴史を伝えるモニュメント



おなはまフォトニュース
～管内の出来事を紹介～

イルミネーション点灯式

11月23日（土）に小名浜港アクアマリンパークで「イルミネーション点灯式」が行われました。一面はサンゴや熱帯魚など、海の生き物や回廊などのイルミネーションで幻想的な空間に演出されています。1月31日（金）まで楽しむことができますので、みなさまぜひお越しください。（点灯時間17:00～22:00）



いわき小名浜みなとオアシスのPR動画が、いわき市公式YouTubeチャンネルにて公開されています！右記QRコードよりチェックしてみてください！

